

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2004-104465 (P2004-104465A)
 【公開日】平成 16 年 4 月 2 日 (2004.4.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-013
 【出願番号】特願 2002-263695 (P2002-263695)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 B 7/26

H 0 4 M 1/73

H 0 4 Q 7/38

【F I】

H 0 4 B 7/26 X

H 0 4 M 1/73

H 0 4 B 7/26 1 0 9 K

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 6 月 24 日 (2005.6.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

基地局と端末局とを含み、前記基地局は前記端末局の送受信期間を指定する通信期間制御データを定期的に送信し、前記端末局は前記通信期間制御データに基づいて通信を行う通信システムにおいて、少なくとも受信部を含む部分が前記通信期間制御データを受信する第 1 の期間と、自端末に割り当てられたデータ受信期間である第 2 の期間ではアクティブモードとなり、前記第 1 及び第 2 の期間以外の第 3 の期間では省電力モードとなることを特徴とする端末局。

【請求項 2】

前記通信期間制御データを受信した時点から該通信期間制御データに含まれている受信期間の計算が完了するまでの間は、少なくとも受信に関連する受信部がアクティブモード状態を維持することを特徴とする請求項 1 に記載の端末局。

【請求項 3】

前記通信期間制御データから得られた受信期間が、複数の時間帯に分散していた場合であって、隣り合う前記時間帯間の間隔が、システムを不安定にさせるような短時間である場合には、前記受信部は隣り合う前記時間帯間において省電力モードに移行しないことを特徴とする請求項 1 に記載の端末局。

【請求項 4】

前記通信期間制御データを受信した時点から該通信期間制御データに含まれている送信期間の計算が完了するまでの間は、送信期間を受信する受信部がアクティブモード状態を維持することを特徴とする請求項 1 に記載の端末局。

【請求項 5】

前記通信期間制御データに含まれる送受信期間報知データの解析が完了したか否かを判断する第 1 の判定手段を有する請求項 1 に記載の端末局。

【請求項 6】

さらに、前記送受信期間報知データの解析完了の有無をモード切替えの選択条件として

モード切替えを行うか否かを判定する第 2 の判定手段を有する請求項 5 に記載の端末局。

【請求項 7】

基地局と端末局とを含み、前記基地局は前記端末局の送受信期間を指定する通信期間制御データを定期的に送信し、前記端末局は前記通信期間制御データに基づいて通信を行う通信システムにおいて、少なくとも送信部を含む部分が自端末に割り当てられたデータ送信期間である第 4 の期間では、アクティブモードとなり、前記第 4 の期間以外の第 5 の期間では、省電力モードとなることを特徴とする端末局。

【請求項 8】

前記通信期間制御データを受信した時点から該通信期間制御データに含まれている送信期間の計算が完了するまでの間は、少なくとも送信に関連する送信部がアクティブモード状態を維持することを特徴とする請求項 7 に記載の端末局。

【請求項 9】

前記通信期間制御データから得た送信期間が、複数の時間帯に分散していた場合であって、隣り合う前記時間帯間の間隔が、システムを不安定にさせるような短時間である場合には、前記送信部は隣り合う前記時間帯間において省電力モードに移行しないことを特徴とする請求項 7 に記載の端末局。

【請求項 10】

前記通信期間制御データに含まれる送受信期間報知データの解析が完了したか否かを判断する第 3 の判定手段を有する請求項 7 に記載の端末局。

【請求項 11】

さらに、前記送受信期間報知データの解析完了の有無をモード切替えの選択条件としてモード切替えを行うか否かを判定する第 4 の判定手段を有する請求項 10 に記載の端末局。

【請求項 12】

基地局と端末局とを含み、前記基地局は前記端末局の送受信期間を指定する通信期間制御データを定期的に送信し、前記端末局は前記通信期間制御データに基づいて通信を行う通信システムであって、前記端末局は、前記通信期間制御データを受信する第 1 の期間と、自端末に割り当てられたデータ受信期間及びデータ送信期間である第 2 の期間は、アクティブモードとなり、前記第 1 及び第 2 の期間以外の第 3 の期間は省電力モードとなることを特徴とする通信システム。

【請求項 13】

前記端末局は、前記通信期間制御データを受信した時点から該通信期間制御データに含まれている受信期間の計算が完了するまでの間は、少なくとも受信に関連する受信部がアクティブモード状態を維持することを特徴とする請求項 12 に記載の通信システム。

【請求項 14】

前記端末局は、前記通信期間制御データを受信した時点から該通信期間制御データに含まれている送信期間の計算が完了するまでの間は、少なくとも送信に関連する送信部がアクティブモード状態を維持することを特徴とする請求項 12 に記載の通信システム。

【請求項 15】

前記端末局は、前記通信期間制御データを受信した時点から該通信期間制御データに含まれている受信期間の計算が完了するまでの間は、送信期間を受信する受信部がアクティブモード状態を維持することを特徴とする請求項 12 に記載の通信システム。